



灰色かび病・菌核病・灰星病・つる枯病には

スミレックス®

水和剤

スミレックスは住友化学(株)の登録商標



なす・きゅうり
ピーマン・トマト・イチゴに
収穫前日まで使えます

【適用病害と使用方法】

2022年9月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期 (収穫前)	総使用回数*	使用方法	
小麦	雪腐大粒菌核病	1000倍	60～150ℓ/10a	75日まで	2回以内	散 布	
きゅうり	つる枯病	1000～2000倍	100～300ℓ /10a	前日まで	本 剤：6回以内 プロシミドン：6回以内(#1)		
すいか	菌核病			7日まで	5回以内		
メロン	つる枯病			1000倍	前日まで		3回以内
かぼちゃ	菌核病	2000倍		14日まで	6回以内		
ズッキーニ		1000～2000倍		前日まで	3回以内		
トマト	灰色かび病				6回以内		
なす	菌核病、灰色かび病				5回以内		
ピーマン	黒枯病	1000倍		14日まで	4回以内		
ししとう		5000倍			5回以内		
キャベツ	菌核病	2000～3000倍			7日まで		5回以内
レタス	菌核病、灰色かび病	1000～2000倍		30日まで	1回		
にんじん	菌核病	1500倍		21日まで	4回以内		
ばれいしょ	小菌核腐敗病、黒腐菌核病	1000～1500倍		前日まで	3回以内		株元散布 散 布
ねぎ		1000倍			5回以内		
たまねぎ	灰色腐敗病、灰色かび病、小菌核病	16倍		2.4ℓ/10a	5回以内		無人航空機による散布 種球粉衣(湿粉衣)
にんにく	黒腐菌核病	種球重量の0.4%	—	植付前	1回	散 布	
いちご	灰色かび病、菌核病	2000倍	100～300ℓ /10a	前日まで	3回以内		
食用へちま	菌核病			7日まで	2回以内		
とうがん	菌核病、灰色かび病	1000～2000倍		21日まで	4回以内		
いんげんまめ	菌核病				2回以内		
だいず	灰色かび病	1000倍		90日まで	4回以内		
あずき	灰色かび病、汚斑病	1000～2000倍		30日まで	2回以内		
らっかせい	モニリア病	1000倍		3日まで	3回以内		
りんご	灰色かび病	1500～3000倍		14日まで	1回		
かんきつ(みかんを除く)	灰星病	1000～1500倍			3回以内		
みかん		1000～2000倍					
もも		1000～1500倍					
すもも		1500倍		前日まで	3回以内		
おうとう		1000～2000倍					
あんず	1000～2000倍	21日まで					
びわ	灰色かび病	1000～2000倍	200ml/株 —	大土寄時 種茎冷蔵保存前	1回	株元灌注 30分間種茎浸漬	
マンゴー	軸腐病	1000倍					
たばこ	菌核病	1000～2000倍	1000倍				
リアトリス							

適用場所	作物名	適用病害名	10アール当り 使 用 量	10アール当り 散 布 液 量	使用時期 (収穫前)	総使用回数*	使用方法
温室、ビニールハウス等 密閉できる場所	き ゅ う り	灰色かび病	200g	10ℓ	前日まで	本 剤：2回以内 プロシミドン：6回以内(#1)	常温煙霧
	な す		250g	5ℓ		6回以内	

*は本剤およびプロシミドンを含む農薬の総使用回数

#1：常温煙霧は2回以内

【注意事項(抜粋)】

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調製後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液など強アルカリ性薬剤とは混用はしないでください。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合は、次の事項に注意してください。
 - ①内袋はぬれた手で触れないでください。
 - ②外袋の開封後はできるだけ一度に使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使い切ってください。
 - ③薬液調整の際は、容器内の水に内袋を開封せずそのまま投入し、よく攪拌してください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ②散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 定植直後又は幼苗、軟弱苗等には葉害を生じるおそれがあるので使用はしないでください。
- 高温時の散布は葉害を生じる場合があるので注意してください。
- トマトは葉害を生じやすいので、下記の注意事項を厳守してください。
 - ①次の条件の場合は使用しないでください。
 - 1 生育が一時的停止するような低温にさらされることがある栽培をしている場合。
 - 2 軟弱徒長気味な栽培となっている場合。
 - 3 微量要素欠乏又はその疑いのある場合。
 - 4 高温多湿条件の場合。
 - ②使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 1 有機リン剤との混用は避けてください。
- 散布液はできるだけ所定範囲内の低濃度(2000倍液)で使用してください。
- 所定の薬量を厳守し、薬量過剰にならないようにしてください。
- くり返し使用する場合は散布間隔を十分(14日以上)あけてください。
- あぶらな科作物(特に、白菜、だいこん、ストック)には葉害を生じるおそれがあるので付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる薬剤と組合わせて輪番で使用してください。
- キャベツに使用する場合は、薬液がかかった葉に極く微小な葉斑を生じることがあるので、使用濃度を厳守してください。
- ハウス等の常温煙霧用として使用する場合は特に次の事項に注意してください。
 - ①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用にあたっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - ②作業はできるだけ夕刻行い、作業終了後6時間以上密閉しておいてください。できれば翌朝までそのままとし、開放後十分換気して入室してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。
 - 付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長袖の作業衣などを着用してください。
 - 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに洗眼してください。
- 常温煙霧においては、薬剤処理中はハウス内に入らないでください。また、薬剤処理終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は農場等に放置せず適切に処理してください。

04R9122S31:ZS

2022年9月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学



動画
チャンネルは
こちら！

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 ☎ 0570-058-669
農業支援サイト <https://www.t-nouryoku.com>
住友化学アグロ事業部

